



## 東地中海地域ニュース

### ヨルダン：ファタハとハマスのマッカ合意に対する反応 (2月10-11日付現地報道)

- 2月10日、バヒート首相は、ヨルダン訪問中のアッバース PA 大統領と会談した。  
会談後の記者会見での両者の発言。
  - アッバース PA 大統領：
    - 19日に予定されるライス米国務長官及びオルマート・イスラエル首相との三者会談で、最終地位交渉に関する手続きについて協議する。
    - (挙国一致内閣について) 自分は、パレスチナに戻り次第、ハニーヤ PA 首相に対し、直接、内閣の辞職を要請し、再度組閣を行う。
    - (次期政府に対しイスラエルがどのような対応を見せるとするかとの問いに対し) イスラエルの反応は正確に把握していないが、イスラエルは既定の事実に対応しなければならない。交渉は大統領府と PLO が担当するものであり、このことは、イスラエルであれ政府であれ、或いは他の関係者であれ、はっきりしており、彼等はイエスともノーとも言える立場にない。
  - バヒート首相：

アッバース PA 大統領とは、マッカ合意についてレビューし、同合意を履行する上で将来的に必要とされている諸事項につき協議した。

ヨルダンは、同合意を歓迎し、パレスチナ人に対する封鎖解除と和平プロセスの再開に向け、可能な限り早急に挙国一致内閣が形成されることを期待する。
- 2月9日、アッバース PA 大統領と電話で会談したアブドラ国王の発言。

ファタハとハマスが到達したマッカ合意は、パレスチナ人の流血を止めると共に、パレスチナ人の正当な権利の回復と、パレスチナ国家樹立に向けてパレスチナ人の統一を強化する重要な一歩である。又、同合意を導いたアブドラ・サウジアラビア国王の努力を評価する。

#### 参考：

8日、アッバース PA 大統領とミシュアル在外ハマス指導者はサウジアラビアのマッカでの協議で合意に達し、「マッカ宣言」に調印した。同合意によると、新たに組閣されるパレスチナ挙国一致内閣では、ハニーヤ首相が留任し、財務、外務、内務の主要ポストに独立系の人物が就き、ハマスが9ポスト、ファタハが6ポストを獲得する。ただし『イスラエルの承認』に関しては文中に明示されなかった。